

競技注意事項

- 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。
- 招集について

- 下記時間に本人がアスリートビブスを示し、番号・名前・所属の確認を受ける。

種目	招集時刻	招集開始	招集完了・移動開始
	競技開始時刻の		
	トラック	30分前	20分前
フィールド	棒高跳	90分前	80分前
	走高跳・走幅跳・三段跳	50分前	40分前
	砲丸投	40分前	30分前
	円盤投・ハンマー投・やり投	50分前	40分前

- 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし出場を認めない。
 - 二種目を同時に兼ねて出場する競技者は、二種目同時出場届けを競技者係に提出し、必要ならば別ナンバーカードを受け取り、競技の進行に支障のないようにする。
 - 招集場から競技場への移動は、競技役員の指示に従い規律ある行動をとる。
 - リレーのオーダーは、第1組目の招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。
- 競技者の服装は、清潔であって不体裁であってはならない。(リレーのユニフォームは同一デザインとする。)
 - アスリートビブスについて
 - アスリートビブスは胸・背部に付ける。(トラック競技では腰ナンバーカードを付ける。)ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでもよい。
 - 3000m・5000m・3000mSC・5000mWは、別ナンバーカードを使用する。招集時に受け取り、使用後はフィニッシュ地点で返却すること。
 - レーン及び試技順について
 - トラック競技の準決勝以降のレーン順については、主催者において決める。
 - 800m以上の種目で、最終枠に同タイムが出た場合は、次のラウンドに進出できるものとする。800mについては、中位の8レーンに2名の競技者を配置する。
 - 5000m・3000mのスタートは、インレーン・アウトレーンに分ける。フィニッシュは、3レーンより外側でフィニッシュすること。
 - フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へ、左から右へ行う。尚、投てき競技は、安全面を考慮し地区予選の記録を参考のうえ、試技順を決める。
 - 本競技場は全天候舗装の為、スパイクのピンは9mm以下のものを使用すること。但し、走高跳、やり投は12mm以下とする。
 - スターターの合図は英語で行う。混成競技を除き、TR16.8に基づき、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。TR16.5.1.2.3の不適切行為は注意(グリーンカード)にとどめる。スターターにより不正スタートと判断され、出発係より「赤/黒」のカードを提示された競技者については、当該種目のみを失格とする。また、混成競技における「黄/黒」カードは持ち越してはならない。スターターの意見を元に審判長(スタート/トラック競技)より、2枚の「黄」カードの提示を受けた競技者についても、当該種目のみを失格とする。なお、「黄」カードは累積されるものとする。審判長より2枚の「黄」カードの提示を受けずに「赤」カードの提示を受けた競技者は、競技会から除外する。
 - 競技終了の競技者は、定められた通路を通過して帰る。(東側ゲートとする。)
 - 競技成績正式発表とは、スコアボードならびにアナウンスの発表とする。表彰は第3位まで行うので、決勝の結果アナウンス後、直ちに表彰席に集合すること。表彰は、競技服装でうける。4～8位の入賞者は、表彰状を受け取りに来ること。得点は1位8点……8位1点とする。
 - 貴重品、その他の忘失のないよう各自で責任をもって保管すること。
 - 危害予防については、各自十分留意するとともに競技役員の指示に従うこと。
 - セパレートレーンの競技者においては、フィニッシュライン通過後、自己のレーン(曲線)に沿って走ること。
 - 投てき競技においては、競技役員の指示以外に勝手に練習しないこと。競技場内では器具等を持って練習動作をしないこと。(サブトラックでの投てき練習は砲丸投のみとする。)
 - 雨天練習場は、使用不可とする。ただし、雨天の場合は B4ゲート下通路を使用することができる。(100mスタート側からゴール方向)JOG・ストレッチ等は行わないこと。又、スパイク・器具の使用はできない。
 - 事故が起こった場合、応急処置は行うが、その後は各校で対応すること。
 - フィールド競技の計測は、計測ラインを設けて行う。(走幅跳、三段跳は、A・Bの2ピットで行う。)
 - フィールド競技の計測ライン並びにパーの上げ方は、次の通りとする。但し、当日のコンディションによっては変更する場合がある。

種目	男子			女子		
	走高跳	1m65・1.70・1.75・1.80・1.85	以後3cmきざみ		1m40・1.45・1.50	以後3cmきざみ
棒高跳	2.80～4.00までは20cmきざみ	4.00～4.50までは10cmきざみ	以後5cmずつ	2.00～2.40までは20cmきざみ	2.40～3.00までは10cmきざみ	以後5cmずつ
走幅跳	6m00			4m90		
三段跳	12m00			9m80		
砲丸投	9m00			8m00		
円盤投	25m00			24m30		
ハンマー投	20m00			15m00		
やり投	38m00			27m50		
混成競技(走高跳)	1m20 以後3cmずつ上げる			1m10 以後3cmずつ上げる		

- 1位決定の場合のパーの上げ下げは、次のようにする。棒高跳は、5cm・走高跳は、2cmとする。
- 用具は検定の上、使用を認める。検定は器具庫前で競技開始1時間30分前から開始し、1時間10分前までに終了すること。
- フィールド標示マーク(目印)を使用する種目においては、競技終了後マークを取り除くこと。
- 本大会は、第77回国民体育大会広島県予選会を兼ねる。
- 各種目とも決勝で1位～6位(競歩・混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマーは4位)に入った学校は、中国高校陸上競技大会の要項等を必ず庶務係(エントランス)で受け取り、申込手続きを5月31日(火)15:30までに行うこと。
- 写真判定装置が故障の場合は、再レースを行う。
- 棒高跳・走高跳の同成績による場合の中国高校陸上競技大会への出場権決定戦を行う。(TR25、26同成績により行う。)
- 混成競技の招集は、1日目、2日目のトップ競技のみ招集場で行う。2番目以降の競技の招集については、競技役員の指示に従うこと。
- 下記競技は、制限時間を設ける。下記時間を超えたら次の周回に入らない。

男子	制限時間	女子	制限時間
5000m	16'00"	3000m	10'30"
3000mSC	9'30"	5000mW	35'00"

5000mW	35'00"
--------	--------

23. 給水について

3000m・5000m・3000mSC・5000mWは、主催者で給水を準備する。

24. 本競技場での競技開始前の練習時間及び、練習のレーン区分は、下記の通りとする。

〈メイン〉

1日目	・・・	5月29日(日)	8:15～9:15	競技終了後～17:00	1 ～ 2	レーン	中長距離・競歩
2日目	・・・	5月30日(月)	7:00～9:15	競技終了後～18:00	3 ～ 6	レーン	短距離・リレー
3日目	・・・	5月31日(火)	7:00～9:30	競技終了後～16:00	7 ～ 8	レーン	ハードル

〈サブ〉

1日目	・・・	5月29日(日)	8:15～17:00		1 ～ 2	レーン	中長距離・競歩
				ハンマー投のため9:00～14:00の間はバックストレート半分～メインストレート半分まで使用不可。	3 ～ 4	レーン	短距離・リレー
2日目	・・・	5月30日(月)	7:00～17:30		5 ～ 6	レーン	400mH・短距離ホムストレート
3日目	・・・	5月31日(火)	7:00～14:30		7 ～ 8	レーン	100mH・110mH

*メイン・サブ共に、リレーの練習は、第4コーナー手前から第1コーナーまでは、使用しないこと。

*メイングラウンド内、芝生への立入は禁止とする。

*多目的広場での練習は禁止とする。

*選手・付き添いは、競技場内、練習会場並びに招集場付近等での日傘の使用を禁止とする。